学校番号	２１２

令和５年度　　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年	３年
類型等	理型（選択）文理型（必修）文型(必修)						
使用教科書	「政治・経済」　（東京書籍）						
副教材等	最新　政治・経済資料集　（第一学習者）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治経済は，日本と世界の政治分野と経済分野について，　理論面と現状から考察する科目です。
2016 年から 18 歳選挙権が実施されました。高校３年生の間に選挙権を得ます。権利を得るということは責任が伴います。科目に即していえば，国内外を問わず政治・経済について一定の知識や判断が迫られるということです。
また，2022 年からは成人年齢も 18 歳へ引き下げられ、多くの権利と自由を手にする一方、責任を負うことになりました。18 歳で成人，つまりは親の保護から自立し大人になるということです。従って，政治経済は，「大人になるための勉強」という性格も持つことになります。
また，政治経済や倫理・政経，現代社会は，大学入学共通テストの科目でもあります。社会の勉強と受験勉強を両立しながら，授業を展開してゆきたいと考えています。

2　学習の到達目標

・民主主義の本質に関する理解を深めさせ，広い視野から現代の政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につける。
・政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察する。
・公正な判断力を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・現代の政治，経済，国際関係について関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	・現代の政治，経済，国際関係に関わる事柄から課題を見いだし，その本質や特質，望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	・現代の政治，経済，国際関係に関わる諸資料を新聞やテレビ，インターネットなどの様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	・現代の政治，経済，国際関係に関する基本的な事柄や，本質特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	・授業への参加態度，授業中のワークシートなど，日々のようす ・長期休業中の課題	・授業中の発言やワークシート ・長期休業中の課題	・長期休業中の課題 ・調べ学習などの発表課題	・主に定期考査

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	○現代の経済現代の資本主義経済	・資本主義の発展	○		○	○	a:経済の本質や資本主義経済の歴史，あるいはグローバル化した今日の世界経済といった，経済活動全般について関心が高まっている。 ｂ：現代経済の特質について，経済体制の国際比較を行うなど多面的・多角的に考察している。 ｃ：経済体制の現状に関する情報を，様々な手段を使い収集している。 ・経済体制に関して収集した資料を，自ら設定した課題解決のために主体的に選択し，活用している。 ｄ：資本主義経済の特質について的確な知識を有するとともに，グローバル化した現在の世界経済の現状に対しても十分に理解をしている。	・学習に対する意欲・態度 ・現代的事象への関心 ・現代的事象・事項の理解 ・現代的事象に対する思考判断力 ・課題に対する理解・関心 ・授業への参加
	現代経済のしくみ	1. 経済主体の役割 2. 国民所得と経済成長 3. 市場のしくみ 4. 金融のしくみ 5. 財政の役割	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	ａ：市場機構や景気変動，金融・財政といった経済の諸理論に対して関心を深め，理論との関連を踏まえながら現実の経済活動を探究する意欲的な態度が見られる。 ｂ：家計，企業，政府の経済主体間の経済循環を，現実の経済活動と対応させながら考察している。 ・金融や財政についての基本的知識をもとに，現実の金融・財政問題やその解決方法について，主体的に判断をしている。 ｃ：国富やＧＤＰ，金融や財政などに関する統計資料を，各種白書などを利用して的確に収集している。 ｄ：適切な価格決定や資源配分といった市場経済のもつ特性を理解するとともに，その限界についても十分な理解をしている。 ・金融や財政に関する基本的な知識をもとに，金融改革や財政改革といった日本経済の課題に対する十分な理解をしている。	

	日本経済の発展と産業構造の変化	1.戦後日本経済の発展	○		○	○	ａ：高度成長から安定成長，バブル経済からバブル後の不況といった戦後日本経済が歩んだ流れを追究しようとする意欲的な態度が見られる。 ｂ：戦後日本経済史との関連の中で，労働問題など日本経済の課題を考察している。 ｃ：戦後日本経済史に関する史料を，様々な文献から幅広く収集している ｄ：戦後日本経済について十分な知識を有するとともに，理解している。	・学習に対する意欲・態度 ・現代的事象への関心 ・現代的事象・事項の理解 ・現代的事象に対する思考判断力 ・課題に対する理解・関心 ・授業への参加
	福祉社会と日本経済の課題	1.労働問題 2.社会保障の役割	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 経済原論で学んだ理論的内容を前提として，日本経済が置かれている現状に対して深い関心を抱いている。 ｂ：経済発展のための効率性の追求と，国民福祉の向上で求められる公正さとの関連を，労使関係や社会保障を題材として的確に判断している。 ｃ：公害や労働問題，社会保障といった様々な課題に関するデータを白書類から収集し，課題解決の手段として活用している。 ｄ：公害，労働問題や社会保障といった日本経済の現状と課題に関して十分な知識を有するとともに，課題を解決する様々な方法に対して理解をしている。	

	国民経済と国際経済	1. 商品・資本の国際取引 2. 国際収支 3. 地域的経済統合 4. 南北問題	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	a:現代の国際経済の動向に対する関心が高まっている。 ・商品，労働力，資本，情報がボーダレスで移動するなど，国際的な相互依存関係が深化する国際経済の特質を意欲的に追究している。 ｂ：現代の国際経済の動向から，課題を見いだしている。 ・経済のグローバル化の動きに対して，商品や労働力，資金の移動などから多面的・多角的に考察するとともに，競争原理を前提としたグローバル化の弊害についても的確な判断をしている。 ｃ：現代の国際経済の動向に関する諸資料を，様々なメディアを通して収集している。 ・収集した資料から，グローバル化の進展など国際経済の特質，国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割などについての情報を主体的に選択して活用している。 ｄ：自由貿易と保護貿易の考え方，国際収支表の見方や為替レートの仕組みなど，国際経済に関する基本的な知識を習得している。 ・自由貿易を前提とした戦後国際経済の流れを理解し，国際通貨基金や世界貿易機関などの仕組みに関する知識を有している。 ・グローバル化が進む国際経済の動向の中で，地域的経済統合や南北問題の新たな局面を理解している。	・学習に対する意欲・態度 ・現代的事象への関心 ・現代的事象・事項の理解 ・現代的事象に対する思考判断力 ・課題に対する理解・関心 ・授業への参加
2学期	現代の政治・民主政治の基本原理	1. 民主政治の本質 2. 基本的人権の意義 3. 法の支配 4. 民主政治の発達と人権の発達 5. 世界の政治体制	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 民主主義の歴史や基本的原理に関して，世界史学習と関連づけながら深い興味を持っている。 ｂ：民主主義の原理と，日本の政治機構の仕組みとの関連を考察している。 ・主要国の政治制度と日本の政治制度とを，比較しながら考察している。 ｃ：社会契約説や権力分立といった民主主義の原理について，ロックやルソーといった思想家たちの原典資料からその内容を確認している。 ｄ：社会契約説や権力分立，主要国の政治制度などに関して正しい知識を身につけている。	・学習に対する意欲・態度 ・現代的事象への関心 ・現代的事象・事項の理解 ・現代的事象に対する思考判断力 ・課題に対する理解・関心 ・授業への参加

	日本国憲法の基本原理	1. 日本国憲法の成立 2. 日本国憲法の基本原則 3. 基本的人権の保障 4. 平和主義	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	a：日本国憲法の成立過程や国民主権，基本的人権の尊重，平和主義といった基本原則に対して興味・関心を抱いている。 ・現実の人権問題に対して関心を示し，日本が抱える課題に対して追究する態度を示している。 ｂ：大日本帝国憲法と日本国憲法を比較しながら，民主主義の実現を目指す憲法の必要性について考察を加えている。 ・人権保障の憲法の条規と，現実の社会における課題との関連を考察し，社会の望ましい在り方を判断している。 ｃ：人権問題に関して収集した資料を，自ら設定した課題解決のために主体的に選択し，活用している。 ｄ：日本国憲法の成立過程について，史実と関連させて適切に理解している。 ・人権保障に関連する日本国憲法の基本的条文について，正しい理解をしている。	
	日本の政治機構	1. 国会と立法 2. 内閣と行政 3. 裁判所と司法権 4. 地方自治のしくみ	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	ａ：国会，内閣，裁判所や地方自治といった日本の政治機構に対して，その仕組みや課題を追究する態度が見られる。 ｂ：民主政治の現実的な担い手である政党や，国民が参政する選挙について十分な関心を抱くとともに，主権者としての政治参加の在り方について客観的に考察しようとしている。 ・憲法上の国会，内閣，裁判所や地方自治の規定と，現実の三権の状況や中央と地方との関連などを的確に比較し考察している。 ｃ：国会，内閣，裁判所や地方自治に関する情報を新聞などのメディアを通じて収集し，学習のために主体的に選択している。 ｄ：国会，内閣，裁判所，地方自治について，憲法条規に照らし合わせて，その仕組みや権限，さらに相互の均衡と抑制の在り方などを理解している。	

	現代日本の政治や経済の諸課題	1.住民生活と地方自治 2.農業，農村と食料，環境問題 3.大きな政府と小さな政府 4.少子高齢社会と社会保障 5.産業構造の変化と中小企業 6.消費者問題と消費者保護 7.労使関係と労働市場	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 現代日本の諸課題に対する関心を高め，課題を意欲的に追究し，望ましい解決の在り方を客観的に考察しようとしている。 ｂ：現代日本の諸課題を多面的・多角的に考察し，望ましい解決の在り方について社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえて公正に判断している。 ｃ：現代日本の諸課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，学習に役立つ情報を主体的に選択し活用している。 ｄ：地域社会の変貌と住民生活，産業構造の変化と中小企業，農業と食料問題，雇用と労働をめぐる問題，少子高齢社会と社会保障など，現代日本の政治や経済の諸課題に関する基本的な事柄について理解し，その知識を身につけている。	・学習に対する意欲・態度 ・現代的事象への関心 ・現代的事象・事項の理解 ・現代的事象に対する思考判断力 ・課題に対する理解・関心 ・授業への参加
	国際社会の政治や経済の諸課題	1.国際経済格差の是正と国際協力 2.核兵器と軍縮 3.国際社会における日本の立場と役割	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	ａ：国際社会の諸課題に対する関心を高め，課題を意欲的に追究し，望ましい解決の在り方を客観的に考察しようとしている。 ｂ：国際社会の諸課題を多面的・多角的に考察し，望ましい解決の在り方について社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえて公正に判断している。 ｃ：国際社会の諸課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，学習に役立つ情報を主体的に選択し活用している。 ｄ：地球環境問題，地球環境と資源・エネルギー問題，人種・民族問題，経済格差の是正と国際協力，国際社会における日本の立場と役割など，国際社会の政治や経済の諸課題に関する基本的な事柄について理解し，その知識を身につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが，学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。